

一般社団法人日本内視鏡外科学会

第 2 期（自 2010 年 10 月 1 日 至 2011 年 9 月 30 日）第 1 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

- ☐開催日時 2011 年 12 月 7 日（水）9:00～12:00
- ☐開催場所 大阪国際会議場 12 階 会議室 1203 + 主催者控室
- ☐理事総数 20 人
- ☐監事総数 4 人
- ☐出席理事数 16 人
- ☐出席監事数 3 人
- ☐出席理事の氏名
北野正剛（理事長）、松本純夫（副理事長／副会長）、星合晃（会長）、伊熊健一郎、
大貫恭正、黒川良望、小西文雄、坂井義治、出沢明、徳村弘実、松田公志、森川利昭、
森川康英、山下裕一、若林剛、渡邊昌彦
- ☐出席監事の氏名
木村泰三、谷川允彦、大橋秀一
- ☐オブザーバーの氏名
塩田充（総会幹事）
- ☐議長の氏名
北野正剛
- ☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない。
- ☐議事の経過の要領及びその結果
以下の通りである。

＊

定刻に至り北野正剛理事長は議長席につき理事会の開催を宣し、ただちに議事に入った。

1. 報告事項

(1) 名誉会員・特別会員推戴の件

北野正剛理事長は、2010 年 10 月 18 日に開催された総会において推戴された下記の名誉会員・特別会員の推戴状授与式を、本理事会終了後に開催する予定である旨を報告した。

<名誉会員>

加藤 紘之 国家公務員共済組合連合会斗南病院院長
清水 信義 岡山労災病院院長

<特別会員>

青木 達哉 東京医科大学外科学第三講座
小泉 潔 日本医科大学外科呼吸器外科
蘇原 泰則 国際医療福祉大学病院
高見 博 帝京大学医学部外科学講座
嵩原 裕夫 徳島大学病院小児外科・小児内視鏡外科
竹下 公矢 国際医療福祉大学熱海病院消化器センター
中川 隆雄 東京女子医科大学東医療センター救命救急センター

(2) 庶務報告

北野正剛理事長より会員数について報告がされた。

会員数 11,156 名 (2011 年 9 月 30 日時点)

名誉会員	24 名
特別会員	63 名
評議員	594 名
正会員	10,353 名
コメディカル会員	108 名
学生会員	14 名

会費未納者の氏名, 所属の名簿を理事会に提出し, 総務委員会にて督促の対策を早急に実施することとなった。

(3) 編集委員会報告

北野正剛主幹より, 以下報告がされた

① 2011 年度の投稿論文について

総投稿数 153 本
総採用数 82 本
総返却数 71 本
採用率 53.6%
投稿から掲載までの平均期間 約 6 ヶ月

② Asian Journal of Endoscopic Surgery について

日本消化器外科学会理事会で, 論文が消化器外科の業績に加算されることが決定された。

(4) 財務委員会報告

星合晃委員長は 2011 年度決算書にもとづき収支科目についての決算額の説明し, 木村泰三監事より決算額について適正かつ妥当であるという監査報告がなされた。

(5) 倫理・渉外委員会報告

小澤壯治委員長欠席のため, 北野正剛理事長より今回は特段の報告事項は無いことが報告された。

(6) 総務委員会報告

伊熊健一郎委員長より、今回は特段の報告事項はないことが報告された。
会費未納者への対応を申し送り事項とすることが確認された。

(7) 教育委員会報告

黒川良望委員長より、以下の報告がされた。

- ①全12回の内視鏡下縫合・結紮手技講習会の開催と3つの新規公認研究会について報告がされた。
- ②「経肛門内視鏡下手術勉強会」の解散について報告され、団体の余剰金についてJSESへ寄付されることが報告された。
- ③後援研究会について、動物ラボが増えており、動物愛護の考え等社会情勢に配慮しながら教育事業として推進することが確認された。
- ④2011年9月9日、10日に松本先生の後援講習会第16回が漏れているため教育委員会にて提出後、事後承認とすることが確認された。

(8) 用語集改訂改定委員会報告

黒川良望委員長より、日本医学会の用語委員会へ参画し、フォーマットを共通化して対応をしていることが報告された。新規用語カテゴリに関して用語の収集を行っており、2012年度中に原案を理事会に示し、その後ホームページに公開する予定となった。

(9) 学術委員会報告

山下裕一委員長より、2012年1月にアンケート調査を発送予定であることが報告された。アンケートにおける単孔式の定義および扱いに関して理事の意見を確認したい旨報告があった。

木村泰三監事、黒川良望理事より、単孔式の概念が決まっていないため、まずはアンケートで実態を把握することが大事ではないかという意見があり、回収率と、JSESの立場を意識した内容で実施することが確認された。

小西文雄理事より、アンケート調査に関して、何例中 / 何例 という形式で行う要望がだされ、それについては、今後委員会での継続審議とすることが確認された。

(10) 保険委員会報告

小西文雄委員長より、外保連への提出書類について説明がされた。

外保連に厚労省から指導があったため、今回の提出書類に関して、シェーマを記載し要望の重み付けを行ったことが補足説明された。

外保連では、先進医療の保険申請について見解が分かれているため今後の動向を確認することとした。

保険適用委員会では、ダ・ヴィンチに関して、厚労省から4領域（産婦人科、消化器外科、泌尿器科、呼吸器外科）について、内視鏡手術の範囲内で保険適用されるかが諮問された。

これに対し、有益性に値する手技に関してのみ保険適用とし、ほかは先進医療の適用とすることを答申したことが報告された。

(11) 国際委員会報告

万代恭嗣委員長欠席のため、北野正剛理事長より以下のとおり報告がされた。

① IFSES 報告では、北野正剛理事長が IFSES 理事長に推薦されることが承認された。

② 国際名誉会員として以下 3 名を国際名誉会員として招聘することが承認された。

・ Prof. Davide Lomanto (Hernia or Education)

・ Wei-Jei Lee (Bariatric)

・ Sir. Ara Darzi (Education)

③ 細則案について規約委員会にて対応中ということが確認された。

④ SAGES との Joint Symposium を山本委員にて企画中である旨報告された。

(12) 広報委員会

出沢明委員長より、以下の報告がされた。

① NewsLetter を 6～8 号と年 3 回発刊済みで、広告費で発刊はまかなえている。

② ホームページのリニューアルについて広報委員会で審議予定である。

(13) ガイドライン委員会報告

坂井義治委員長より、各領域から CQ 案を収集しており、来年早々にホームページ上で閲覧可能になるよう準備中と報告された。文献検索に関して今後予算を当てる必要があり、費用提示のうえ、財務委員会にて審議することとした。

(14) 将来構想委員会

松本純夫委員長より以下のように報告された。

① 保険対応のダ・ヴィンチに関して、厚労省から 4 領域（産婦人科、消化器外科、泌尿器科、呼吸器外科）についてデータ収集を要望されているため、学術委員会のアンケート項目に盛り込み手術成績の収集を行うことが報告された。

この報告に対し、森川康英理事より、学会に諮問機関を設け PMDA へ（薬事承認を拡大していくため）の提言を行なっていくべきで、今後検討が必要であるとの意見が出された。

② 事務局移行に関するトラブルについて報告がされた。

(15) 第三者評価委員会

森川康英委員長より諮問事案がないため委員会を開催していな旨、報告がされた。

(16) メディカル・チーム検討委員会報告

渡邊昌彦委員長より、内視鏡外科手術マニュアルの骨子が出来上がったため、次に編集を行う予定であるが、作業に時間を要するため今後委員の増員が必要であることが報告された。

(17) 医工学連携委員会報告

森川利昭委員長より、2011 年 11 月 23 日に開催された、第 2 回日本医工ものづくりコンテスト・シンポジウムの概況に関して報告がされた。

(18) 技術認定制度委員会報告

松田公志委員長より、以下報告がされた。

①前回理事会にて承認されたビデオクリップの制度について再度確認がされた。事務局移行の際のトラブルのため、ビデオクリップの制度が延期することになり、補足説明とあわせて小西文雄理事から報告がされた。

②論文作成指針に関して、前回理事会以降に修正した最終版の報告された。

③専門医制評価・認定機構へ要望書の提出について説明がされた。

④泌尿器科、産科婦人科、整形外科の新規申請者と更新者の承認がされた。

泌尿器科 新規 5 名 更新 17 名

産科婦人科 新規 18 名 更新 7 名

整形外科新規 1 名 更新 1 名

(19) 専門医制度検討委員会報告

渡邊昌彦委員長より、今回は特段の報告事項はないことが報告された。

(20) E ラーニング検討委員会報告

大貫恭正委員長より、現在コンテンツの中身について検討中であることが報告された。

(21) 日本医学会報告

北野正剛理事長より、日本医学会評議員会議事録の確認がされた。

(22) 第 24 回総会の状況について

星合昊会長より学会開催状況として以下の通り報告された。

セッション構成とセッション数は、会長講演 1、海外招請講演 4、教育講演 1、特別企画 8、シンポジウム 178、ディベートセッション 14、スポンサードシンポジウム 11、25 ワークショップ 84、パネルディスカッション 316、要望演題 138、一般演題 940、婦人科ポスター 22、学術調査報告 1

合計 1,742 演題 16 会場で実施予定。

(23) 第 25 回総会の状況について

松本純夫次期会長より学会開催準備状況の報告がされた。

松本次期会長より、ダ・ヴィンチが臨床運用されはじめるので、方針として医工連携を中心とするとの説明があった。

国際名誉会員に関しては事務局から招聘することが確認された。

(24) 第 26 回総会の状況について

山下裕一次々期会長より学会開催準備状況の報告がされた。

会期：11 月 28 日（木）－ 30 日（土） 会場：福岡国際会議場

テーマ：オリジナリティとエビデンス

山下裕一次々期会長より、オリジナルの先生を招聘しその後どういいうエビデンスが展開されたかを論じ、松本純夫次期会長の予定しているロボット手術に関するプログラムも継続する予

定との説明があった。

(25) 評議員選考委員会報告

若林剛委員長より、前回理事会で承認された、57 名の新評議員が確認された。

2. 審議事項

(1) 2012 年度予算案について

① 2011 年度決算

星合晃委員長は、2011 年度決算案を提出し、出席理事全員異議なく原案通り承認した。

② 2012 年度予算

星合委員長は、2012 年度補正予算案を提出し、ホームページリニューアルおよび、事務局移転に関する補正予算であることを説明し、出席理事全員異議なく原案通り承認した。

③ 2013 年度予算案

星合委員長は、2011 年 9 月 20 日開催の理事会（以下 前理事会という）で承認された予算案に関して確認が行ったところ、出席理事より技術認定に関して、更新料収入の抜けが指摘され、その旨を修正することとして、出席理事全員異議なく原案通り承認した。

④ オンライン決済システムの導入

会費納入に関して、クレジットカードおよびオンラインバンキングによる決済システム導入が提案され、出席理事全員異議なく原案通り承認した。これに伴い、改めて、決済システム導入に関する費用を事務局より提出することとした。

⑤ 特別会計

学術集会に関する会計の位置づけについて議論となったところ、これを特別会計とし、学会会計への繰入に関しては学会からの支援であって予算化されるものでないということが確認された。

これに伴い、学術集会特別会計の決算報告フォームに関しては、会計事務所と相談のうえ財務委員会にて検討することとなった。

⑥ 会費免除

星合委員長は、被災地に関して、211 名より会費免除申請がなされたことを報告し、同申請は出席理事全員異議なく承認された。

⑦ その他

出席理事より、決算額において繰越額が十分にあることから、教育セミナー参加費を下げるなど会員への還元を検討してはどうかという意見が出され、財務委員会にてこれを検討することとなった。

これとともに、公益法人化、独立事務局化ということも含めて、財務委員会にて継続審議とすることが確認された。

(2) COI に関する指針

森川利昭委員長は、前理事会にて提出した「臨床研究の COI（利益相反）に関する指針」「臨床研究の COI（利益相反）に関する指針運用規則」「臨床研究に関する指針 Q&A」の 3 原案を最終案とすることを報告し、2012 年 4 月以降の発表から同指針に則ることが提案され、出席理事全員異議なく承認された。

(3) 規約委員会報告

徳村弘実委員長より、「定款」、「入退会に関する規則」の修正案，新たに制定する「特別会員，名誉会員及び国際名誉会員に関する規則」の原案が示され，質疑応答の後，特別会員及び国際名誉会員に関する規則において第4条4項に関して「委員」の文言は取り除くこととする他は，原案とおり出席理事全員異議なく承認された。

(4) 名誉会員・特別会員推戴の件

北野理事長より，下記のとおり名誉会員・特別会員の推戴者案が示された。

<名誉会員>

大橋 秀一 健保連大阪中央病院
木村 泰三 富士宮市立病院
小西 文雄 自治医科大学附属さいたま医療センター外科
谷川 允彦 谷川記念病院
土屋 了介 癌研究会顧問
馬場 志郎 北里大学医学部泌尿器科学教室
東原 英二 杏林大学医学部泌尿器科
星合 昊 近畿大学医学部産科婦人科学教室
松本 純夫 独立行政法人国立病院機構東京医療センター
森川 康英 慶應義塾大学医学部外科

<特別会員>

奥田喜代司 大阪医科大学医学部産婦人科学教室
小倉 嘉文 松阪市民病院外科
金田 巖 石巻赤十字病院
川原 克信 大分大学医学部腫瘍病態制御講座（外科学第二）
工藤 進英 昭和大学横浜市北部病院消化器センター
小西 敏郎 NTT 東日本関東病院外科
畠山 勝義 新潟大学大学院消化器・一般外科
松田真佐男 社会保険中京病院外科
山崎 芳郎 大阪厚生年金病院外科

審議の結果，松本純夫，小西文雄，馬場志郎の各氏は，名誉会員として推戴される2011年12月7日総会時点で現職理事であることから，2012年の総会以降に推戴するのが適切であることが確認され，この3名を除く名誉会員7名・特別会員9名の推戴が承認された。なお，名誉会長は学術集会会長を経験された70歳以上の会員であることが改めて確認された。

(5) 第3回大上賞選考結果報告

土屋了介委員長欠席のため，北野正剛理事長より受賞候補者が報告され，出席理事全員異議なく承認された。

金平永二（AMG内視鏡外科アカデミー）

(6) 第14回伊藤賞選考結果報告

馬場志郎委員長欠席のため，山下裕一委員より受賞候補者が報告され，出席理事全員異議な

く承認された。

塩飽洋生（昭和大学横浜市北部病院消化器センター）

(7) カールストルツ賞選考結果報告

星合晃委員長より以下の受賞者3名が選考されたことを報告され、出席理事全員異議なく承認された。

石沢武彰（東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科）

青木武士（昭和大学医学部 消化器・一般外科）

家入里志（九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野）

(8) 第27回総会会長について

北野正剛理事長より、若林剛理事が推薦されたことが報告され、全員一致にて承認された。若林理事より挨拶がなされた。

3. その他

(1) 4名の理事退任にあたって、後任の委員長を北野正剛理事長より指名された。

財務委員会	小澤 壯治
大上賞選考委員会	渡邊 昌彦
総務委員会	若林 剛
第三者評価委員会	岩中 督
メディカル・チーム検討委員会	岩崎 昭憲
倫理・渉外委員会	堤 治
評議員選考委員会	塩田 充

(2) 北野正剛理事長より委員長の将来の交代に関して意見を募り、教育委員会では黒川良望委員長が来年度交代されることが確認され、ガイドライン委員会との兼ね合いで坂井義治理事が副委員長として加わることが確認された。

(3) 庶務報告に関しては総務委員会にて取り纏めることが確認され、今後会員の管理などメンバーシップという役割を総務委員会が担うことが確認された。

(4) ダ・ヴィンチのトレーニングセンターを複数社へ開放していく予定であることが確認された。

以上、理事会の議事の経過並びに結果が正確であることを証するために、議事録を作成し出席理事および出席監事はこれに記名押印する。

(以下、略)

以上

一般社団法人日本内視鏡外科学会

第 2 期（自 2010 年 10 月 1 日 至 2011 年 9 月 30 日）第 1 回社員総会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

☐開催日時 2011 年 12 月 7 日（水）17：20～18：30

☐開催場所 大阪国際会議場 5 階 大ホール

☐理事総数 20 人

☐監事総数 4 人

☐出席理事数 20 人

☐出席監事数 3 人

☐出席理事の氏名

北野正剛（理事長）、松本純夫（副理事長／副会長）、星合晃（会長）、伊熊健一郎、大貫恭正、小澤壯治、黒川良望、小西文雄、坂井義治、土屋了介、出沢明、徳村弘実、馬場志郎、万代恭嗣、松田公志、森川利昭、森川康英、山下裕一、若林剛、渡邊昌彦

☐出席監事の氏名

大橋秀一、木村泰三、谷川允彦

☐名誉顧問の氏名

北島政樹

☐議長の氏名

北野正剛

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り北野正剛理事長は議長席につき総会の開催を宣した。
議事に先立ち、以下の名誉会員・特別会員の推戴状授与式が行われた。

<名誉会員>

加藤 紘之 国家公務員共済組合連合会斗南病院院長

清水 信義 岡山労災病院院長

<特別会員>

青木 達哉 東京医科大学外科学第三講座

小泉 潔 日本医科大学外科呼吸器外科

蘇原 泰則 国際医療福祉大学病院

高見 博 帝京大学医学部外科学講座

髙原 裕夫 徳島大学病院小児外科・小児内視鏡外科

竹下 公矢 国際医療福祉大学熱海病院消化器センター

続いて、議長は、議事に入った。

1. 報告事項

同日に行われた第2期第1回理事会における報告事項の(2)ないし(25)及び審議事項(2)，(3)，(5)，(6)，(7)の内容について修正・変更がないまま報告されたため、理事会議事録において各々対応する事項の記載をもって、省略する。

2. 審議事項

(1) 理事4名選任について

議長は、土屋了介理事，星合晃理事，森川康英理事の3名が定款第32条による定年に基づき、伊熊健一郎理事が本人申し出により、理事を辞任したため、その後任者を選任する必要があることを述べ、理事4名の候補者として以下の者を選任したき旨提案し、これを議場に諮ったところ、異議なく原案通り承認された。被選任者はいずれもその就任を承諾した。

記

岩崎 昭憲	福岡大学医学部外科学講座呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
岩中 督	東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻 小児医学小児外科学
塩田 充	近畿大学医学部産科婦人科学教室
堤 治	医療法人財団順和会山王病院

(2) 新評議員の選任について

若林剛評議員選考委員長が、2011年9月20日に開かれた総会により承認された57名について、本総会の終了後に就任することを説明した。議長がこれを議場に諮ったところ異議なく承認された。

(3) 定款の一部変更と規則施行について

徳村弘実規約委員長より、定款の一部変更案（別紙のとおり）、入退会に関する規則、特別会員、名誉会員及び国際名誉会員に関する規則が示され、このうち、特別会員及び国際名誉会員に関する規則において第4条4項に関して「委員」の文言は取り除く旨の訂正説明があった。議長がこれを議場に諮ったところ、異議なく原案通り承認された。

その他は、同日に行われた第2期第1回理事会における審議事項(1)，(4)，(8)の内容について修正・変更がないまま議場に諮られ、異議なく承認を得たため、理事会議事録において各々対応する事項の記載をもって、省略する。

以上、社員総会の議事の経過並びに結果が正確であることを証するために、議事録を作成し議長がこれに記名押印する。

(以下、略)

以上

現行定款	変更案
第2条（事務所） この法人は、主たる事務所を東京都文京区大塚5丁目3番13号 一般社団法人学会支援機構内に置く。 第5条（種別） この法人の会員は、次の7種とし、正会員のなかから第12条に定めるところにより選任した評議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）に定める社員とする（以下、「社員」とは、第12条に基づいて選出された評議員を指す）。 (1) 〽【条文省略】 (4) (5) 特別会員 この法人に対して特別に功労のあった正会員で65歳に達した者の中から、理事会及び総会の決議を得て推薦された者とする。特別会員は理事会及び社員総会に出席して意見を述べるができる。推薦の手続については、細則に定める。 (6) 名誉会員 原則として、会長を務めた者、又は理事、監事を6年以上務め、この法人に尽力した者で65歳に達した者の中から、理事会及び総会の決議を得て推薦された者とする。名誉会員は理事会及び社員総会に出席して意見を述べるができる。推薦の手続については、細則に定める。 (7) 国際名誉会員 外国人であって、内視鏡外科学に対し特に功労のあった者、もしくは学術上の功績が顕著な者で、理事会及び総会の議決を経て推薦された者とする。国際名誉会員の推薦の手続については、細則に定める。 第35条（取引の制限） 1 【条文省略】 2 【条文省略】 3 前2項の取扱いについては、第46条に定める理事会運営規則によるものとする。 第39条（種類及び開催） 1 【条文省略】 2 【条文省略】 3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。 (1) 〽【条文省略】 (3) (4) 第30条第5号の規定により、監事から理事長に招集の請求があったとき又は監事が招集したとき。 第46条（議事録） 理事会の議事については、法令で定めるところにより書面又は電磁的記録によって議事録を作成し、出席した理事及び監事は、これに署名又は記名押印しなければならない。 第50条（基金の拠出者の権利） 1 この法人は、第61条による解散のときまでに基金をその拠出者に返還しないものとする。	第2条（事務所） この法人は、主たる事務所を東京都千代田区霞が関1丁目4番2号 日本コンベンションサービス株式会社社内に置く。 第5条（種別） この法人の会員は、次の7種とし、正会員のなかから第12条に定めるところにより選任した評議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）に定める社員とする（以下、「社員」とは、第12条に基づいて選出された評議員を指す）。 (1) 〽【現行通り】 (4) (5) 特別会員 この法人に対して特別に功労のあった正会員で65歳に達した者の中から、理事会及び総会の決議を得て推薦された者とする。特別会員は社員総会に出席して意見を述べるができる。推薦の手続については、細則に定める。 (6) 名誉会員 原則として、会長を務めた者、又は理事、監事を6年以上務め、この法人に尽力した者で65歳に達した者の中から、理事会及び総会の決議を得て推薦された者とする。名誉会員は社員総会に出席して意見を述べることができる。推薦の手続については、細則に定める。 (7) 国際名誉会員 外国人であって、内視鏡外科学に対し特に功労のあった者、もしくは内視鏡外科学に対し学術上の功績が顕著な者で、理事会及び総会の議決を経て推薦された者とする。推薦の手続については、細則に定める。 第35条（取引の制限） 1 【現行通り】 2 【現行通り】 3 前2項の取扱いについては、第47条に定める理事会運営規則によるものとする。 第39条（種類及び開催） 1 【現行通り】 2 【現行通り】 3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。 (1) 〽【現行通り】 (3) (4) 第31条第5号の規定により、監事から理事長に招集の請求があったとき又は監事が招集したとき。 第46条（議事録） 理事会の議事については、法令で定めるところにより書面又は電磁的記録によって議事録を作成し、代表理事及び当該理事会で選任された理事1名は、これに署名又は記名押印しなければならない。 第50条（基金の拠出者の権利） 1 この法人は、第62条による解散のときまでに基金をその拠出者に返還しないものとする。

平成 23 年度 技術認定(泌尿器腹腔鏡)合格者

桶川 隆嗣(杏林大学泌尿器科)
安藤 亮介(安城更正病院泌尿器科)
中井川 昇(横浜市立大学附属病院)
堀田 記世彦(市立札幌病院腎臓移植外科)
福原 浩(東京大学医学部附属病院)
島 正則(医療法人正友会島医院)

平成 23 年度 技術認定(泌尿器腹腔鏡)更新者

市丸 直嗣(大阪中央病院泌尿器科)
伊藤 文夫(東京女子医科大学東医療センター)
岡 裕也(奈良社会保険病院泌尿器科)
車田 茂徳(済生会新潟第二病院)
小林 泰之(岡山大学病院)
坂下 茂夫(帯広厚生病院泌尿器科)
佐藤 信(仙塩総合病院泌尿器科)
七里 泰正(大津市民病院泌尿器科)
種田 倫之(康生会武田病院)
戸邊 豊総(済生会宇都宮病院)
長野 正史(宮崎県立宮崎病院泌尿器科)
那須 保友(岡山大学病院新医療研究開発センター)
西村 健作(市立池田病院泌尿器科)
本多 正人(公立学校共済組合近畿中央病院泌尿器科)
松川 雅則(滝川市立病院)
柳瀬 雅裕(砂川市立病院泌尿器科)
山田 裕二(兵庫県立尼崎病院泌尿器科)

平成 23 年度 技術認定(産科婦人科)合格者

中村 嘉宏(医療法人仙養会北摂総合病院)
石川 博士(千葉大学医学部附属病院)
根津 幸穂(自治医科大学附属さいたま医療センター)
明石 祐史(札幌医科大学産婦人科学講座)
橋場 剛士(杏林大学医学部産婦人科)
久 剛(日本生命済生会付属日生病院産婦人科)
大隅 大介(独立行政法人国立病院機構北海道医療センター)
坂本 愛子(沼津市立病院)
勢多真理子(四谷メディカルキューブ)
三橋 洋治(近畿大学医学部奈良病院産婦人科)
平吹 信弥(石川県立中央病院)
岸 郁子(東京都済生会中央病院)
小田 隆司(三宅医院生殖医療センター)
田中 雄大(湘南 IVF クリニック)
逸見 博文(KKR 札幌医療センター斗南病院生殖内分泌科)
高木香津子(愛媛大学附属病院産婦人科)
八幡 哲郎(新潟大学医歯学総合病院産科婦人科)
田中 智人(大阪南医療センター)

平成 23 年度 技術認定(産科婦人科)更新者

楠本 知行(岡山大学病院産科婦人科)
鈴木 隆弘(東海大学医学部専門診療学系産婦人科)
妹尾 大作(松山赤十字病院)
福原 正生(福岡山王病院)
増澤 秀幸(ひろおかさくらレディースウィメンズクリニック)
山崎 英樹(鹿児島大学医学部・歯学部附属病院)
梁 善光(帝京大学ちば総合医療センター産婦人科)

平成 23 年度 技術認定(整形外科)合格者

蜂谷 裕道(医療法人蜂友会はちや整形外科病院)

平成 23 年度 技術認定(整形外科)更新者

平泉 裕(昭和大学医学部整形外科学教室)